

# 学院時報

No.95

令和2年10月1日発行

## 聖ドミニコ学院

幼稚園・小学校  
中学校・高等学校

〒980-0874  
仙台市青葉区角五郎2-2-14  
URL: <http://www.dominic.ac.jp>  
TEL 022(222)6337  
FAX 022(221)6203

北仙台幼稚園  
〒981-0914  
青葉区堤通雨宮町11-11  
TEL・FAX 022(234)3615

### 「中学校男女共学にあたって」

聖ドミニコ学院理事長

中学高等学校校長・幼稚園園長

小笠原朋之



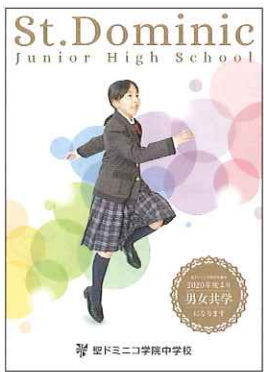
主において常に喜びなさい。重ねて言います。喜ばなさい。あなたがたの広い心がすべての

人に知られるようになさい。主はすぐ近くにおられます。どんなことでも、思い煩(わづら)うのはやめなさい。何事につけ、感謝を込めて祈りと願いをささげ、求めているものを神に打ち明けなさい。そうすれば、あらゆる人知(じんち)を超える神の平和が、あなたがたの心と考えとをキリスト・イエスによって守るでしょう。(新約聖書から使徒パウロのフィリピの教会への手紙 四章四節〜七節)

さて、今年度入学生から中学校は男女共学となりました。新入生十六名の中に初々しい二名の男子生徒がいます。新入生には、「みずからが開拓者となり、心を耕し、体力・気力・知力を日々の生活で植えつけ、将来の土台作りをしていきましよう。」と、エールを送りました。

本学院は八〇〇有余年もの間、伝え継がれてきた聖ドミニコ修道会創立者、聖ドミニコの教えである「真理」(ラテン語でヴェリタス)をモットーとし、「真理を求め、自由に生きる人」の育成を目標として掲げ、今日に至っています。学内には、あいさつと笑顔がいつも交わされ、心が清らかなる日々を送ることが出来ます。自己本位な人間の弱さから解放された利他の精神を学び、社会に貢献する人間に成長するよう育まれていきます。同じ敷地内には、幼稚園、小学校、中学校、高校があり、その教えは一貫して受けつがれています。

私は、ドミニコ学院に奉職して四年目を迎えます。前理事長のメール「イエスが亡くなる前に、「私の願いは、小学校中学校の義務教育九年間をドミニコで学ばせたいということだ。」と、お話しなされました。しかし、小学校から中学校への内進生はわずかで現状を打開するにはどうしたらいいか?私が赴任したばかりのころ、小学校の保護者から、「うちの子は男の子で、ドミニコ中学校は女子しか受け入れられない。小学校を卒業したら、次の行き先をどうしようかと悩んでいるところです。」と、話されたことがあります。思い切って中学校を男女共学にしてはと、提案しました。理事の方々からの



同意を得て、学内での周知とともに、広報活動を行いました。タイミングよく河北新報の記者の方が取材に来られたのもありがたいことでした。ドミニコ小学校から中学校へ入学したのは、十六名中、男子一名と女子二名です。たったの三名と思われるでしょうが、この三名は自らの意志で入学してきたのです。そして、今年度からの男女共学は近い将来に高校を男女共学するうえでの試金石です。先日、ドミニコ幼稚園の保護者から、高校は男女共学になるのですかと尋ねられました。その予定です。とお答えしたところ、よかったという思いが笑顔に表れていました。聖ドミニコ学院は、幼稚園、小学校、中学校、高等学校がそれぞれ単体であるのではなく、まさにドミニコワールドを形成しているのです。聖ドミニコ学院で学ぶすべての園児・児童・生徒たちの夢をかたちにするため、私たちの使命は「あせらず、やまず、あきらめず」、一日一日の努力を積み重ね、進む行く手に一生懸命の花をいっぱい咲かせることにあります。

### オンライン授業及びICT教育について

教務部 若松 実

三月より、新型コロナウイルスの影響で私達は、突然、新しい生活を余儀なくされました。生徒の学習活動を止めないために、中学校・高等学校教員、一丸となって知恵を出し合い、四月からは課題学習やClassiを活用するなどの試行錯誤を重ねました。休校が再延長となった頃、ちょうど校内のwifi等々の環境が整い、全体でZOOMによる双方向のオンライン授業をすることになりました。まったく初めての試みだったのでうまくいくかどうかとも心配でしたが、先生方、生徒の皆さんの協力のおかげで、想像以上にスムーズに授業に入れることが出来ました。大変ありがたいことでした。今後、二波、三波がきて休校になる可能性も十分に考えられます。その際にも生徒の教育活動を止めないよう、オンライン授業をさらに工夫を考へてまいります。



### 聖書のことば

「正義が造り出すものは平和であり、正義が生み出すものはとこしえにやすらかな信頼である」  
(イザヤ書32章17節)

使い古された言葉には力がない、そのひとつが「平和」と聞いたことがある。だから、「日常」と置き換えて使用するのがさうだ。コロナ禍にあつて、確かに「日常」が待ち遠しい。ただ、一人ひとりが安心して暮らせる日常であつて、そのためには戦争や核のない世界、格差・差別がなく、将来世代が安心して暮らせる自然環境の確保が目指された生活スタイルが大切である。

「正義(ヘブライ語でツエダカー)の原義は「施し」で、上着を二枚持っている人が道で裸の人に出会ったら一枚を相手に施す。二対〇の関係が一對一に変化し、そこに平等が生まれる。それを正義というと呼ぶ。ここ仙台においても、フードバンクが発足している。食物が分かち合われ、窮している方にすぐ届けられることは神の国が始まっていることの現われである。

中学高校副校長 柚木 洋子

# 幼稚園

## マリア祭

今年度は五月まで休園が続いたため、幼稚園では、六月の新たな園生活の始まりとともに、聖母月の思いを乗せて過ごしていきました。新たなクラスで出会った友達を知る中で、互いによいように関わったり、よいか分からず、戸惑いも見られていたが、泣いている友達、困っている友達を見つけた時に涙を拭いてあげたり、手伝ったり、自然と優しいさや思いやりの気持ちが行動に表す子ども達の姿がみられ、園生活が温かな気持ちに包まれました。クラスでは一人ひとりの心を共有しながら、マリア様にお捧げする心の花束として、花紙を使ってお花を作り、マリア祭当日に聖母子像を囲み、代表の年長さんが心の花束をお捧げ♪みんなでマリア様の歌を歌い、心を合わせてお祈りをしました。

こうして、ともに過ごせる日々感謝をしながら、これからも一人ひとりの心がマリア様のように朗らかに柔らかく育まれるよう大切に過ごしていきたいと願ったマリア祭でした。



## サマーフェスティバル

七月三十一日に年長児対象のサマーフェスティバルが行われました。今回は「夏祭り」を楽しもうと、自分達が経験したお祭りの内容を出し合い、子ども達は想像を膨らませながら沢山考え、想像しただけで顔がほころんでいました。中でも全員一致で決定したのは、花火!!他にも盆踊り等もあり、早速踊りの練習をしたり、お祭り好きな親方からの手紙が届く等、当日会える事を楽しみに準備をしていました。

当日、子ども達に再び親方から手紙が届き、お祭り探検をして、弟子達と提灯やうちわ、お面作り、金魚すくいのお店準備を皆で協力して手伝いました。次に粘土作りに挑戦。粉の感触を味わいながら皆で捏ね、全身泥まみれになる程夢中で楽しみました。そして、浴衣に着替えて夕食後には、お祭りがスタート。親方が登場すると子ども達は大喜ぶ!!そこへ保護者が登場し更にビックリ!親子で夏祭りを満喫し、友達や親子でかけがえのない時間を共有して、良き思い出ができました。



## マリア組ってどんなクラス?

マリア組は満三歳児のクラスです。三歳のお誕生日を迎えた翌日から入園することができ、定員は二〇名です。また、サブクラス(縦割クラス)に配属され、年上の子ども達と一緒に過ごす時間もありません。

今年度は三名でスタートし、少しずつ仲間が増え、七月からは八名で過ごしています。

入園した頃は、不安や寂しさで胸いっぱい涙いっばいの子もいましたが、園生活の楽しさを知り、毎日笑顔で元気に過ごしています。一緒に過ごす友達がいることも安心できる心の支えとなり、お互い気にかかり、声をかけ合い、楽しい時間を共有しています。

少人数ということもあり、子ども達は穏やかな雰囲気の中で基本的な生活習慣が身に付くように頑張っています。また、子ども達はお仕事が大好きで、集中して取り組む、できた時はキラキラの笑顔を見せてくれます。

一つひとつできた喜びを味わいながら、日々成長しているマリア組の子ども達です。



## お誕生日会

毎月聖堂にて誕生会を行っています。誕生児の保護者の方は自由参観で来て頂いています。誕生児は手作りのすてきな冠をかぶり、みんなに祝福される中で入堂し、名前や年齢・ひとこと等を恥じらいながらも頑張ってお話しています。また、今まで育ててくれたお家の方に心を込めたプレゼントも作っております。



## 新任紹介

この春、大学を卒業し、四月から聖ドミニコ学院幼稚園の一員となった、西條結香と申します。日々過ごしていく中で、いつも明るく素敵な笑顔を見せてくれる子どもたちや、温かい先生方と出会ったことに感謝しています。

また、今年にはコロナウイルスの影響で、一期は子どもたちと過ごす期間が少し短くなってしまうかもしれません。しかし、子どもたちの成長は早いもので、幼稚園生活を通して自ら苦手な事に挑戦し、出来るようになっていく姿や、年上の子どもが思いやりを持って年下の子どものお世話をしてくれる姿、そして笑顔で友だちと元氣いっばいに遊ぶ姿を見るたびに、私も幼稚園の先生として先輩の先生方のように、子どもたちの成長を援助し、一人ひとりの可能性を伸ばしていきたいよう努力していきたいと感じました。

まだまだ未熟ではありますが、成長していくことが出来るよう頑張りたいと思いますので、よろしくお願いたします。



### 「年長行事」

登園後はバスに乗って天文台に向かいました。子どもたちは、様々な惑星の展示やプラネタリウムなど、不思議な宇宙の世界に興味津々でした。その後、天文台の近くの公園で少し遊び、お腹へこぺこになって幼稚園に戻って来て、お友だちと一緒に楽しくお昼ご飯を食べました。幼稚園ではスイカ割り、ダンス大会、花火大会など楽しいことが盛りだくさん！降園の時はお父さん、お母さんに一日の出来事を楽しそうに報告する姿が見られ、大好きなお友だちと過ごした特別な思い出でいっぱいなの年長さんでした。



### ドミニコまつり

七月三日にドミニコ祭りを行いました。ヨーヨーすくい、スイーパーボールすくい、サイコロゲーム等、楽しいお店屋さんがいっぱい張り切って登園してきた子どもたちはそれぞれのゲームに挑戦することに意気込んでいました。いざお祭りが始まると目をキラキラ輝かせながらお店屋さんをまわる子どもたち！年長児は自分がゲームに参加しながらも年少児を気にかけていました。お世話をする姿もすっかり板についてきたようです。てんたん人形劇による「たったか」のお楽しみショーは、丸や三角、四角の人形たちが物語を展開して、終始子どもたちの笑い声が絶えませんでした。祭りを終えた後、子どもたちから「明日もお祭りやりたい」との声。とても楽しいひとときを過ごすことが出来ました。ドミニコ祭りに協力してくださった保護者の皆様、ありがとうございました。



## 北仙台幼稚園

### 新任紹介

今年度は、新しく三名の先生方をお迎えしました。



**年少担当**  
佐藤 晶子

「幼稚園楽しいね」と笑顔溢れる園で、教師として子どもたちと共に過ごせる毎日に幸せを感じています。初めは不安もありましたが、先生方の丁寧な教えと優しい心遣いに支えられて乗り切ることが出来ました。



**年中担当**  
金野 典子

子どもたちと初めて会った日、緊張と不安でいっぱいだった私に、「おはようございます」と恥ずかしがりながらも元気に挨拶してくれた子どもたち。その日から「あつ」という間に時間が過ぎ、一学期が終わりました。先生方から学ぶことは多く、幼稚園教諭としても人としても少しずつですが、成長出来ているのではないかと感じています。



**事務**  
伊藤 百花

四月一日付で聖ドミニコ学院北仙台幼稚園の一員となりました。当初は何もわからず、教えていただいた内容だけを一つずつ時間をかけながら、自分なりに一生懸命頑張っていたことを今でも鮮明に思い出します。幼稚園での活動に慣れ始めてきた今ですが、まだまだ仕事の段取りが上手に取れずいます。やらなければならぬ仕事も多く、どこから手をつければ良いかわからないことがほとんどです。仕事の優先順位をしっかりと考え、先を見据えられるよう、今は自分の出来る限りの努力をしています。

また、園児と関わる際、私が先生と呼ばれると少しくすぐったい気持ちになります。園児にとつての私はしっかりと先生になれているのかわかりませんが、これから沢山子どもたちと接し、良い先生になれるよう精一杯頑張ります。



# 小学校

新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受け、本校でも三月二日から休校措置となりました。五月中旬からは、オンライン学習を開始し、後半には分散登校を行いました。そして、ようやく六月一日から通常の学校生活を始めることができました。感染対策をしながらの学校生活。様々な制約・制限がある中でも輝く子供たちの姿を紹介します。

## ドミニコ祭り

毎年、保護者の方や後援会の方に協力して頂き、学校外のお客様をお迎えして大盛り上がりするドミニコ祭り。今年度は、様々な行事が中止を余儀なくされています。感染予防に努めながら、「自分たちができること」を児童会役員と六年生が中心となって計画し、実現させました。



### 「最初で最後」

今年、例年とはちがうドミニコ広場になりました。私たちにあって最初で最後のドミニコ広場。不安が胸がいっぱいでした。「おかしすくい」という店をドミニコ広場に出

六年 清野 喜花

店するのは、初めてでした。だから、四・五・六年生全員でアイデアを出し合いました。「こういう案はどうか」と、六年生が聞くと、チームの意見は賛成と反対に分かれました。だから、その案にみんなが納得するまで話し合いをしました。そして、話し合いや準備の中でみんなが協力してくれたことが、私の心の支えになりました。その時、下級生の力がどれほど救いになるのかが分かりました。お店で働くチームのみんなも、お客として来てくれた人々も、みんなが笑顔で帰っていったから、私にとって最高の思い出になりました。私は、誰かに言われたから仕方なくやるのではなく、積極的に行動すること、誰かを思って行動しているところが、ドミニコ生の良さだと思います。

来年には、新型コロナウイルスが収束しているかもしれないし、もっとひどくなっているかもしれません。それでも、ポジティブに考えることで、自分にとっても、周りの人にとっても良い思い出をつくることができるということを、ドミニコ祭りを通して学びました。これからも、ドミニコの歴史を作っていくことを意識して、下級生にも頑張ってもらいたいと思います。

### 「コロナの中でも」

ドミニコ祭りを新しい生活様式で実施しました。先輩に伝えておきたい事は、行事全体の形や行事そのものが変わったり、なくなったりしても、最後まであきらめずに何かの形で活やくの場を作れるように行動していく必要があることです。そして、やる時には「責任をもってやりとげる」ということを伝えていきたいです。

コロナで暗い時だからこそ、僕は明るく前向きに工夫して物事を進め、歩みを止めていかなないように気を付けて毎日の学校生活を送っています。また、この経験を後に振り返った時に、悪い経験ではなくある意味、ほくにとってみれば

六年 森井 淳斗

とても良い経験で、「自分を成長させてもらったね」といえるような時間にしたと思います。今回は、新・ドミニコ祭りとして実際に開催することもできて、十月の下旬には規模を縮小した上で小学校生活の中で最後の運動会があります。また、修学旅行も九月にあります。「命」をテーマに、思い出作りではなく、学習をしに行きます。このようにコロナで大変な時でも、行事が行えることに感謝して、学校全体を盛り上げていきながら、下級生のお手本になれるように、日々努力していきます。

## コロナ禍の「今」思うこと

★子供たちの日記から

### 「休けん日記」

パチパチと、せんこう花火は、お花がさいたようにきれいです。シルバースパークもしました。火のこがふき出してにおいがしました。おばあちゃんが、バケツに水を用いしてくれました。花火をバケツの中に水に入れるとジュワツと音がしました。

二年 鈴木 佐保

後でおかさんから聞いたのですが、ちょうどその時間に全国でオリンピックに合わせて花火がうち上げられたそうです。なんだかうれしい気持ちになりました。来年のオリンピックがたのしみです。花火でたくさんの人によるこんでもらいたいです。

### 「ありがとう日記」

今週は、毎日雨がふっていた気がします。休みの日は、大好きな自転車にのりたいと思っています。朝、雨がふっていないだったので、そばと広瀬川のほうへ、自転車さんぽに出かけました。春は、ふじの花がさいてとてもきれいです。運がよければ、

二年 熊谷 圭織

「ケーン。」というキジの鳴き声も聞くことができます。今日は、鳴いていませんでした。さんねんです。わたしは、このさんぽコースが大好きです。きれいなけしき、ありがとう。

## ★出身幼稚園の

## 先生方へのお手紙から

学校が休校になり、あらためて感謝したことがあります。

四年 小野寺 さやか

それは、学校に行ける楽しさです。なぜなら、休校になったとき、友達や先生に会えなくて、とても悲しかったからです。でも、六月一日に友達に会えた時のうれしさは、今でも忘れません。この学校に通えるうれしさを実感しながら、学校生活にはげんでいます。

四年 鷹野 庚英

コロナが広まり、マスクや手の消毒をしなければいけなくなり、小学校も五月まで臨時休校になっていました。

今は、学校が再開し、仲間と過ごす毎日が楽しいです。ほくは、がまんの先にはきつといいことがあると思っています。だから、これまでとはちがった生活の中にも、自分がやらなければいけないことをして過ごしていきたいです。

四年 申 湊最

四年生になって委員会が始まりました。私は、保健委員会に入りました。

今、コロナ感染症で全世界が大変な中、私は何ができるかを考えました。きつと私たちにもできる事があると思いました。マスクをきちんとつける、手をきちんと洗う、消毒をする、そして、一番大切なことは、きちんとご飯を食べてよく眠ることだと思います。自分たちができる事からしっかりと取り組んでいきたいと思っています。

この「きちんと習慣」を、保健委員会で伝えていきたいと思います。

### 新任紹介

#### 一年 副担任 杉田 麗愛

今年度から赴任いたしました、杉田麗愛と申します。小学校で一年生の副担任、一〜四年生の宗教を担当しています。

私は小学五年生のときにキリスト教に出会い、中学一年生の時にカトリックの洗礼を受けました。その頃から毎週修道院で聖書の勉強をすることが私の楽しみでした。そしてキリスト教は私の人生で最も大切なものとなりました。高校でカトリック学校に入學し、宗教の授業の存在を知った私は、自然に宗教の先生になりたいと思うようになりました。高校卒業後は聖書の勉強を続けたい、宗教の先生になりたいという夢を抱え、上智大学でカトリック神学を専攻しました。七年間抱き続けた夢が叶い、今はここ聖ドミニコ学院小学校で教壇に立たせて頂いております。子供たちとお祈りをする時や聖書を読む時、私の心は大きな喜びで満たされています。私たち全ての人が神様から愛されて望まれて生かされている、どのような困難にあろうとも神様が私たちをいつも見守ってくださっている、という事実は子供たちの心に大きな安心と希望を与え、と考えています。人生を歩むうえで大切な指針となる「真理」を子供たちと共に探求して参りたいと思います。



#### 二年 担任 中澤 歩里

私は山形県天童市で生まれ、米沢市で育ちました。夏は盆地で暑く、冬は一日で雪が五〇cmも降るような所です。そんな環境の中で、小学

校一年生の時にスキー少年団に入団して以来、約二十年アルペンスキーを続けています。

シーズンスポーツであるスキーは、夏は自分の心と体作り。様々なトレーニング課題を課せられました。例えば二重跳び連続百回、ジャグリング連続千回。この練習でスキーに関係ある？と思ったこともありましたが。しかし、何度も挑戦すること、正確にできるようになるまで練習を続けることで、自分の体が自由自在になれる！頭と体で感覚を覚えていくと共に、集中力を身に付けました。冬は雪上でスキーを履いての実践トレーニング。夏に鍛えた自分の心と体を使って勝負の一分間に全力を注ぎます。結果が良かった時の嬉しさ。転んだり、失敗してしまったりしたときの悔しさ。次は勝つと燃える闘志。スキー少年団の活動を通して、私が成長する過程でなくてはならない大切な経験を積んできました。

少年団のコーチには小学校の先生もいて、その影響から教職が憧れの職となり、宮城教育大に進学しました。しかし、大学院ではスキーの研究に取り組み毎日。その様な日々の中で、卒業後もスキーを優先するために選んだ就職先。一度は教職から離れようと思いましたが、大学生の先生としてドミニコキッズでドミニコの子供たちと出会い、素直で向上心があるところ、楽しそうに遊ぶ輝く笑顔を見て、教職がどんなに素敵で自分がいたい場所なのかということを確認し、今教壇に立っています。

今しかできないことを、全力で楽しむことができるように。子供たちにとって大切な経験をたくさん積むことができるように。その経験が子供たちの自信になるように。一歩一歩、常に前へ前へと成長する子供たちに



負けないように。精一杯力を尽くして、この道を進んでいきます。

#### 三年 副担任 高村 匠

私は高校生まで福島県のいわき市に住んでいました。小・中学校ともに全校生徒が百人未満という、とても自然豊かな場所です。大学から仙台に来て就職し、前職では小中学生を対象とした、不登校支援を行っていました。学校と異なり、児童生徒一人一人に担当の相談員がいます。その中で担当した子どもとの出会いが、小学校の教師を志すきっかけとなりました。

今年度担当している三・四年生の社会科の授業では、児童一人一人が楽しく学習しながら知識を身につけられる姿を目指しています。子供の豊かな発想に毎日驚かされますが、問題と向き合い、ひたむきに学習している様子から、やる気や期待が伝わってきます。そんな子供たちの思いにに応えるべく、私自身も日々勉強です。

副担任をしている三年生の教室には、いつも明るく楽しい声が響いています。授業や休み時間など何事にも一生懸命で、誰に対しても優しく接することができ、天真爛漫で温かいクラスです。これからもその良さを生かしながら、四年生への階段を一歩一歩登れるように、指導に携わっていききたいと思っています。



#### 四年 副担任 高橋 伸夫

今年度、四年生の副担任と全学年の英語専科を担当している高橋伸夫と申します。私は、南アフリカ人の妻、そして娘との三人暮らしです。以前は会社員として働いていました。

英語専科として子供たちと過ごしていると、「僕たちは日本に住んでいて、日本語が話せれ

ば全く問題ないのに、どうして英語を学習しないといけないのですか？」と子供たちに聞かれることがあります。私が人生を生きる上で最も大切だと考えているのは問題を解決する力です。それは、国語や算数を通して、物事を本質的に理解する力や見通しを立てる力だけではありません。心の底から何かに夢中になれる力や、子供たちが自らのやりたいことのために周囲に応援団を作っていく力もそうです。英語はまさに自分の応援団を増やす、最大の武器となる教科です。令和の今、日本に住んでいる人だけでなく、海外に住んでいる人たちも私達の応援団の対象だからです。

小学校時代は、そんな英語を学ぶ際の大きなアドバンテージとなる年代です。子供は誰でも無限の可能性を持っています。その一つ一つを引き出していくこと、それが私の使命だと考えています。このドミニコの子供たちの、英語の力を伸ばしていくために、そして、子供たちが安心して、学べる環境づくりのために、同僚の先生方と連携しながら、精一杯がんばらせて頂きます。よろしくご指導、ご協力のほど、お願い致します。



### 入試について

#### 募集人数

一年生 四十名(男・女)

#### 願書受付

九月七日(月)〜三〇日(水)

※今年度よりWeb出願となります。詳しくは本校ホームページをご覧ください。

#### 入試日

十一月六日(金)

# 中学校

雑感



中学校主任 成毛 祥代

なってしまいが、速かった。今年は中学校としても初の男子生徒を迎えたが、本人達や周りの協力もありかなり馴染んでくれている様で、安心している。

それにしても今、不確実な時代である。このコロナ禍の状況も、いつまで続くか判らない。こんな時に何ができるか考えるに、結局できる事を日々やっていくしかないのではな

いか。状況を見極め、自ら判断し、決めたら実践する—そんな力を、私達皆が身に付けなければならぬ。そしてそれは実は今までも必要だった普遍的な真理なのではないか。大きな事ができる自信は無いが、大切だと思ふ事を、これから粘り強く伝えていきたい。



皆真剣に話を聞いています

## 聖ドミニコ学院中学校に入学して

一年A組 久保利梨子

六月から本格的に中学校生活が始まりました。早くも二ヶ月が経ちました。

小学校の生活と比べ、大きく変化したのは通学方法と部活動によって帰宅時間が遅くなったことです。市営バスでの通学により、バス停から家まで歩く距離が長くなったので以前よりかなり体力が削れたと感じます。小学校の頃とは全く変わった生活にははじめは慣れず大変でしたが、先生方や先輩方のおかげで少しずつ慣れてきました。勉強と部活動を両立させていくために、自分で時間の使い方を工夫していきたいと思っています。またクラスメイトと共に協力し、励ましあいながら楽しい三年間の中学校生活を送りたいと思います。私を支えてくださる方々への感謝の気持ちを忘れず自分なりに少しずつでもお返しできるように努力していきます。



理科の実験中

## コロナ禍で思うこと

二年A組 狩野 景衣



剣道を頑張ろうと思  
い、ドミニコ学院への転  
校を決めた矢先の三月上  
旬、新型コロナウイルス  
感染拡大防止のため市内

の小中学校が休校になりました。その時まだ部活の先輩や顧問の先生に挨拶が出来ていませんでした。そして最終的に顧問の先生以外には挨拶できないまま転校しました。武道をやっている者として、お世話になった人に感謝するのは礼儀の基本なのでとても後悔しました。今度、大会でお会いしたら感謝も含めて挨拶したいです。

一か月後に、初めて登校しました。仲良くなるまで人見知りの自分が結構不安でした。何人かの人が話しかけてくれて、早く馴染めたいと思えました。けれどまたコロナの影響で休校になり、時間がどんどん削られました。

そんな休みの中でも、自分の県一番という目標が変わりませんでした。無駄な時間は一分でも一秒でもつくりたいように毎日ルーティンを欠かさず行いました。流石に一か月以上もこれが続いていると飽き始めてしまい、誰も悪くはないのですが、誰かのせいにしたくなり、苦しかったです。「剣道がしたい。」何度思ったか。この期間で、剣道が自分にとって大切なのだと一番実感できました。

そんな時、顧問の先生の言葉が救いになりました。  
「先のことでも大事だけれど今、目の前に集中しなさい。」  
先のことを悩むだけでは、それこそ時間の無駄だと思いました。余計な心配はせず、今後に繋がる自信をつけていきたいです。  
今では、学校も部活も始まって二か月位が



理科の実験中

経ちました。毎日学校、部活、塾の体力ギリギリのハードスケジュールをこなすのが一杯です。それでも自分はこれくらいの覚悟を持って転校してきたので、学業も剣道も疎かにすることは絶対にできません。いつでも周りに流されず、自分のペースで何事も取り組んでいきたいです。

自粛期間中、私は時間の大切さを学びました。長い休みだから好きなことをして、ダラダラ毎日過ごすのと、目標を持って、その実現のために毎日一生懸命取り組むのでは大きな差が生まれてくると思います。コロナの状況でもできることを探し、無駄な時間を作らずにきたことは、自分を大きく変えるきっかけになりました。

時間は呼吸するくらいの速さで過ぎていきます。忙しい自分にとっては、待つてほしいけれど待つてはくれないものです。だからと言って、宿題などの提出物が遅れたとき「忙しかったのでできなかった」は理由にはなりません。これからは、時間を上手に使って、目標のために自分に負けず取り組んでいきたいと思っています。

野草園での一日



三年A組 大野くるみ  
この間、中学生は茂ヶ崎にある仙台市野草園に行ってきました。天気にも恵まれ、最高の校外学習日和となりました。

到着してから、ガイドをしてくださったボランティアさんから野草園についての説明や学習する上での注意事項など丁寧に教えて頂きました。草木が生い茂り、時折そよぐ風にとっても夏を感じました。

見たことのない花や身近な植物まで、名前の意味や由来など様々な解説をして下さり、大変勉強になりました。

午後になると各々被写体を決め、スケッチを始めました。それから昼食を挟み、中学生全員で、スケッチの発表会を行いました。特徴をしっかりと捉え、のびのびと植物の様子を表現していました。

豊かな自然に触れ、新しい知識を取り入れ、とても充実した校外学習になったと思います。

この様な貴重な体験を日常生活に役立てていきたいと思っています。



2021年度中学校生徒募集について (詳細は募集要項をご覧ください)

定 員	男女合計 35名				
試験区分	Ⅰ期入試			Ⅱ期入試	
試験日	2021年1月7日(木)			2021年1月23日(土)	
出願期間	2020年12月1日(火)～2020年12月24日(木)			2021年1月14日(木)～1月21日(木)	
試験内容	推薦入試	一般入試	スポーツ奨学生入試	推薦入試	一般入試
	面接	適性検査 (総合問題) 面接	面接	面接	基礎学力検査(国語・算数) 面接
	面接は保護者同伴			面接は保護者同伴	
合格発表	2021年1月8日(金)			2021年1月25日(月)	

# 高等学校

## 高校生活が始まる

新型コロナウイルスの感染拡大により、私たちはいろいろな場面で影響を受けております。高校も例外ではありません。

四月の入学式は保護者の来校をご遠慮していただき、放送による「入学式」となりました。新入生は、校長式辞と新入生代表宣誓を教室で聞いた後、一組から順番に聖堂に移動して、担任呼名、校長入学許可、クラス集合写真撮影を行いました。写真撮影後は教室に戻り、学級担任によるホームルームを行い、ドミニコ学院高校での最初の一日が終了しました。

翌日からは感染拡大により休校になり、再び登校したのは五月十一日。その後スームによる「オンライン授業」があり、分散登校を経て、通常授業が再開されたのは六月第二週からでした。

運動会やドミニコ祭など「3密」が心配される行事は中止となり、夏休みも短縮されました。この状態はまだ続きますが、生徒たちは新しい友達もでき、それなりに高校生活を楽しんでおります。不自由な生活の中でも学習面でも部活動の面でも成長がみられる学年になるように今日も生徒とともに頑張っております。

主任 小野 尚



## 高校第2学年の現在

主任 小野 寺 原

高校第二学年の現況を報告させていただきます。今年三月頃から新型コロナウイルス感染拡大が起こり、新学期も四月八日の始業式後は臨時休校が続きました。本校初めての試みであるオンライン授業を実施し、ようやく六月一日から本格的な学校生活が始まりました。しかし感染拡大は収まらず、新入生が中心の役割を果たすはずの高松体やドミニコ祭が中止になり、学校生活の再開を楽しみにしていた生徒たちにとっては、片羽根を奪われたかの

## 「特別進学コースについて」

特別進学コースリーダー 小野 寺 達 也

今年度から特別進学コースリーダーを仰せつかりました。今年度は第三学年の担任も兼務しております。

ご存知の通り今年度の三年生が受験する二〇二二年度入試から大学入試制度が大きな変化を迎えます。



特別進学コースでは、この大きな変化に対応すべく

## 高校第三学年について

主任 伊東 正史

「今は、一人ひとりがそれぞれの場所で制限された生活を送っています。学校が再開した時には、最後の高校生活を全力で、楽しく、有意義に過ごすことができるように、あと少し力を蓄える時間と想って過ごしてください。」これは、新型コロナウイルス感染症の影響で臨時休校の延長が決まった四月月上旬に、第三学年の教員から生徒へ送ったメッセージの一部です。

現在は、生徒一人ひとりが蓄えた力を存分に発揮して学業や部活動に熱心に取り組んでいます。八月上旬の第一学期考査も無事に終え、進路活動にますます力を発揮してくれるものと確信しています。生徒全員が来年三月の卒業式を迎え、四月からの新生活を送ることができるようにと願っております。

追記 今年の四月も校庭の桜は満開でした。



## 総合進学コースの取り組み

総合進学コースリーダー 小野 寺 原

今年度で総合進学コースは創立二年目を迎えました。一年生に十五名を迎え、二年生二十名を加えて生徒総数は三十五名となりました。

総合進学コースは大学、短大、医療系専門学校への進学を目指すコースです。ですから生徒は基礎学力の確立を目標にして、日々の授業を大事にして部活動と両立しながら勉強に励んでいます。特に二年生は在籍二十名のうち理系選択者が十三名と多く、過半数が医療系の仕事に強い関心を持ってます。今後は入試に向けた具体的な指導を展開して、彼女たちのモチベーションを高めてゆきたいと考えております。また一年生は秋には系統(文系・理系)と選択科目の調査があります。クラス担任と連携してキャリア教育の指導を行い、将来を見越した選択をさせてゆきたいと考えております。

今年度はコロナ禍で当初予定していた企業連携によるワークショップ(働くことの意味を考えた体験型講座)や大学連携による出前授業も見送りにしております。いずれも生徒の学習意欲を高めるコース行事だと考えますので、コロナ感染が小康状態となれば実施を再検討したいと考えております。

## コロナ禍に対応した 幼児保育コースの取り組み

幼児保育進学コースリーダー 佐藤 正久

今年度の幼児保育進学コースは、最近の中でも比較的多くの入学者を迎え例年以上に張り切って新学期を迎えたところでした。しかし、御多分に漏れず新型コロナウイルスの影響は避けられず、一学期においては、幼児保育系大講師や有識者を迎えての「幼児保育フォーラム」や系列幼稚園での「保育体験学習」が中止されることになってしまいました。



しかし、「放課後のピアノレッスン」をはじめ「幼児保育系の学校設定科目」などに生徒たちはいつも以上に集中して取り組んでいます。専門学校の講師を招いて毎週実施している三年生「保育キャリア」では、専門学校の協力を得て八月中旬までZOOMを使った授業をライブで行っていました。

二期からは、系列幼稚園の「運動会」のお手伝いや「国連」の「日フォーラム」など予定通りの行事を実施できることを願っています。

## キャリアデザインコースの現状

キャリアデザインコースリーダー 及川 俊浩

二〇二〇年度の出発をくじくように新型コロナウイルス感染を防ぐため、本校でも四月五月は休校措置をとり、六月から授業が再開されました。しかし、コロナ禍の影響は大きく、コースの特徴の一つであるコミュニケーション能力の育成や社会人の方々から様々なことを学ぼうとするプログラムは感染防止のため、軒並み中止あるいは延期しなければならぬ事態に陥ってしまいました。

二、三年生が行う社会人講座「ドミニコの森」は様子を見ながら九月に開始するにしましたが、NPO法人カタリバ主催のプログラムは六月実施予定の三年生分は中止、十月実施予定の二年生分は検討中となっております。また二年生が夏休みに行う予定であった仕事体験は感染防止並びに授業のため中止となり、コースの目玉であるプログラムが軒並み出来ない状況となっております。

何も出来ないでは生徒の発達に影響しますので、九月以降は出来る範囲でプログラムを実施していることと模索中です。中でも「ドミニコの森」の講師を依頼している方々ほとんどがこの状況の中でも工夫して実施していることと準備していただいております。少しでも社会人の方々から仕事のことや生き様、培ってきた技術などを吸収してもらえれば幸いです。

特徴ある授業等が出来ない状況でも生徒たちは安全に気をつけながら、学校生活を続けています。その点はご安心ください。

最後になりますが、お願いがあります。前回の学院時報にも書きましたが、是非ドミニコを卒業した先輩方、あるいは保護者の方々から社会人講師として「ドミニコの森」を担当していただける方を募集しております。現在行っている仕事のこと、今まで生活してきた身につけたこと、あるいはドミニコ





# 新任紹介

## 「挨拶の大切さ」

**中学校高等学校指導主事 社会科 千葉 律之**  
 この四月、本校に着任しました千葉律之です。  
 さて、コロナウイルスの蔓延にもなう休校が続きましたが、六月に入りようやく学校が再開され、生徒の皆さんと会うことができ、ほっと「安心して授業を行っております。生徒と会って、はじめに感じたことは、しっかりと挨拶ができる生徒が多いということです。これは、本校が創立以来、連続と続いてきた伝統と解釈しております。生徒の皆さんにはこれからも挨拶の大切さを自覚しながら、学校生活を送っていただきたいと思っています。」



保護者の皆様が「本校で学ばせてよかった」、さらに、地域の方々から「ここに聖ドミニコ学院があつてよかった」と思っていたら、微力ではありますが努力していきます。どうぞよろしくお願いたします。

## 「朝読書と聖書朗読で始まる毎日」

**一年一組担任 国語科 大出 恭史**  
 高等学校教諭の大出恭史と申します。高校1年1組の担任で担当教師は国語です。もともと美術、特に日本美術が好きで、大学では美術史を専攻していました。そして、興味のあった日本文化や日本文学を仕事に活かしたいと考えたのが国語の教員になる道を選んだきっかけです。



実は過去にミッションスクールで勤務していたことがあるのですが、その精神は今の私の教育理念の源泉になっています。昨年度は「今日の私の教育理念の源泉」やデジタルツールを用いた教育活動を行ってきました。聖ドミニコ学院は、穏やかで厳格な雰囲気、朝読書と聖書朗読で始まる毎日が大変心地良く、過ごしやすく素敵な学校だと思っています。素直な生徒が多く、授業も毎時間楽しくできていますし、毎日楽しく過ごすごとができています。

この先輩としてこれから社会に出て行く後輩に伝えたいこと、など授業をしてみたいと思われる方は是非高校の担当(及川)までご連絡ください。

## 「知る楽しさ」

**三年一組担任 英語科 佐藤 美穂**  
 今年度より着任しました佐藤美穂です。  
 聖ドミニコ学院は、朝読書で始まり、一日を落ち着いて始めることができる素敵な学校だと思います。



にとっても、読書の時間が良質の学びの時間となっています。読みたい本が増え、様々な分野について知ることが喜びを感じます。  
 明るく素直で朗らか、学びに前向きな生徒が多く、その姿から日々新しい一面を知ることができます。学校生活を通して、知ること、考えること、学ぶことをともに楽しんでいきたいと思っています。  
 この聖ドミニコ学院で生徒の学びを支えていけるよう励んで参ります。どうぞよろしくお願いたします。

## 「1万3千歩」強歩通勤」

**一年三組担任 数学科 奈良 直哉**  
 今年度、縁があり公私間交流制度でお世話になることになりました。私は青森市出身で、大学進学時に牛越橋の先にある川内三十人町に住んでいたため、十数年ぶりに訪れたこの地域に懐かしさを感じながら勤務しております。また、今年から車を使わずに通勤しており、タイトル通りの歩数を解消し続ける日々です。お陰様で「ステイホーム太り」の撃破にも成功致しました。趣味は読書、そして楽天狂です。球場で選手応援歌を熱唱できる日常が早く戻りますように(切実)。お祈りに始まり、お祈りに終わる。授業の合間や休み時間には、園児や児童の明るく元気な声が響き渡る。そんな穏やかな日常は、とても居心地がよく、素直に楽しいと思います。短い期間ではありますが、よろしくお願致します。



## 「学校という『場』を大事に」

**法人事務局長 齋藤 順子**  
 高校・大学時代をこの界隈で過ごし、以来、四十数年ぶりに広瀬川の流れを日々目にすることとなり、自らの十代後半の頃を懐かしく思い出す今日この頃です。思えば、私のその後は、学校という「場」とそこでの様々な学びにより、明確に方向づけられた気がします。  
 今年度は、新型コロナウイルス感染症により、学校という「場」が封じられたままの異例のスタートでした。



## 御退職の先生

**感謝**  
**法人事務局長 高橋 規夫**  
 この度、永年勤務した学院を一身上の都合により退職させて頂きました。おめでとうございます。



一九七五年(昭和五十年四月)に、本学院の中学校高等学校の数学の教員として採用されたから、二〇二〇年(令和二年七月)まで通算四十四年四月、無事に勤めておりました。  
 勤めて三十五年間は、生徒たちと教科・クラス担任、部活動を通して、毎日楽しい教員生活を過ごさせて頂きました。その中でも、バドミントン部の顧問として過ごした約二十年間は忘れられない期間でした。バドミントンの「バ」の字も知らない素人の私についてくれた生徒たちに感謝しています。  
 二〇二一年(平成三十三年四月)からは、法人事務局で勤務することになりました。法人事務局は教員とは全く違う業務でなにかと戸惑うことばかりでした。当時の川上事務局長には、一から御指導頂き大変お世話になりました。  
 学院で過ごした、四十四年四月は大変長かったです。この間、無事に勤めることができたのは、教職員の皆様方からの御指導、御協力のおかげと心から感謝しております。

結びに、私の我儘を聞いて頂き、年度の途中で退職を認めて頂いた小笠原理事長はじめ関係各位の皆様方には大変申し訳なく、ありがとうございます。  
 理事長はじめ教職員皆様方の御健康と、学院の限らない発展を心よりお祈りしております。

## 2021年度高等学校生徒募集について (詳細は募集要項をご覧ください)

科	普通科			
コース	特別進学	総合進学	幼児保育進学	キャリアデザイン
定員	女子 35 名	女子 35 名	女子 25 名	女子 60 名
試験区分	推薦入試		一般入試	
試験日	2021年1月13日(水)		A日程 2021年2月2日(火) B日程 2021年2月4日(木)	
出願期間	2020年12月21日(月)～2021年1月6日(水) ※土・日・祝日、12月25日(金)、12月28日(月) 午後～1月3日(日)は除く		2020年12月21日(月)～2021年1月22日(金) ※土・日・祝日、12月25日(金)、12月28日(月) 午後～1月3日(日)は除く	
試験内容	面接試験		A・B日程ともに国語・英語(リスニング含む)・数学の学力試験	
合格発表	2021年1月14日(木)		A・B日程ともに2021年2月8日(月)	

前を向いて

小学校校長 土井 智子



本校の創立記念日は、四月三十日です。毎年四月に六年生が中心になって幼小合同の「創立の集い」を行っていましたが、今年は休校中だった為、ユーチューブで教師が動画を配信しました。六月に入り、全校生が登校できるようになっても、学校行事の殆どが中止や縮小を余儀なくされています。六年生の活躍の場が少なくなっていることに、教師は焦りに似た思

いを持っていました。七月初旬、学校生活にも落ち着きが見られたころ、六年生の子供たちから「ZOOMで創立の集いをしよう。」という声が上がりました。「全校生が一堂に会することはできないけれど、ZOOMならクラスをつないでできるのではないか。」と提案してきたのです。できることから始めようという姿勢に頼もしさを感じました。早速準備にとりかかり、七月末に「創立の集い」が行われました。六年生が考えたドミニコイズや六年合唱団による歌と振り付け、コロナウィルスで苦しんでいる人々のための祈り：短い練習期間だったにもかかわらず、子供たちは力を発揮しました。

行事を通して子供たちは成長します。工夫を重ね、友達と協力し、作り上げる力を養います。今、何ができるかを考え実行する機会を自分で作り出した子供たちは、よりたくましく成長していくことでしょう。私たちは前を向いて進んでいきます。以前はこうだったとか、こうでなければならぬと考えを膠着させるのではなく、しなやかに進めたいかなければなりません。今を生きている子供たちは、置かれた状況を前向きにとらえ、できることから歩み始めています。聖ドミニコ学院のモットー「真理、正しいことを知り愛と真心をもってそれを実行する」を実践している子供たちに背中を押されながら、一日一日の学校生活を大切に過ごしていきます。

「あかるく つよく ただしく」

聖ドミニコ学院幼稚園 園長 小笠原 朋之



学院の理事長と中学校の校長を兼務し、今年度から森本幸子前園長先生の後任として園長をお引き受けいたしました。新型コロナウイルス感染症拡大防止の対応等の影響下、緊急事態宣言が解除された六月から通常の園生活をスタートさせ、一学期は二か月と短い期間となりました。夏休みをはさみ、二学期は八月二十四

日から開始しています。再建の神様と称えられた早川種三という方がおられました。彼は、「苦境に立たされたときほど、粘り強い執念と同時に、困難を打開するためのさまざまな知恵がなければなりません。知恵はたんなる知識ではない。堅忍不拔の状況判断から自然にじみ出てくる、行動性に富んだ対応策である」と、逆境に置かれた場合の対応を説いています。園児たちも「あかるく つよく ただしいころ」で園生活を過ごすことができるよう、毎朝イエス様とマリア様にお祈りし、園生活を過ごしています。先生方も「あせらず やすまず あきらめず」この状況の中で「何ができるか」を常に考え、知恵を出し合い、力を合わせて

園児たち一人ひとりの援助に一生懸命取り組んでいます。その姿勢には、保護者の願いにも応えようとする先生方の念(おも)いがこめられています。新型コロナウイルスが私たちの日常を脅かしています。感染が拡大しないよう一人一人が心がけるべきことを自覚すれば、みんなの大切な命が守られます。本学院が創立以来大切に育んできた「真理」(ヴェリタス)のもと、さまざまな取り組みをおし、保護者の皆さまとともに園児たちを見守り、園児たちの輝く笑顔がたくさん咲きまわすように、神様の慈しみに感謝し、祈りをささげてまいります。愛と慈しみのあるところ、神はそこにおられる。

どうぞのつくえ

北仙台幼稚園園長 齋藤 潤子



世界中が新型コロナウイルスウィルス感染症に困惑しています。効果的な治療薬の開発等を待たずに、新たな感染症報道もあり気の抜けない毎日です。六月のA新聞に「どうぞのつくえ」という記事が載りました。北九州市のプロテストタント牧師の牧師さんの話です。絵本の「どうぞのいす」ならぬこの話は、

信者の厚意で頂き物が多い牧師さんが、働き場所を失ない生活に困っている人々がいることを知り、欲しい方がいたら役立ててほしいという思いで教会の入り口に貼紙を出して、クマのぬいぐるみと品物を机に置いて出しておいたそうです。「誰も持って行かないのではないか」と思っていたところ、夕方になると朝置いた品物がなくなり、代わりに品物が置いてあったそうです。翌日から「どうぞのつくえ」には、野菜・お菓子・生活必需品などの品物が毎日のように入れ替わり置かれ、多くの人々が机の恩恵にあずかっているという内容でした。

生活できていると思っていた毎日が、思わぬ出来事です。自粛生活が始まり、大人も子どもも社会全体が我慢の日々を過ごさなければならなくなりました。毎年発生する甚大な被害を及ぼす自然災害、そして治療法・治療薬が見つからない新しい病気。それらは、いつ私たち自身に起こるかわからないものです。そのような時、身近でできる小さな行動は、お互いを思いやりお互いに救われる。それこそ神様が私たちに最も望まれておられる「愛」そのものではないかと感じました。

幼稚園 募集について

聖ドミニコ学院幼稚園 (二〇二一年度(令和三年度) 園児募集日程)

- 願書配布開始 十月 一日(木)
- 入園説明会 十月 七日(水)
- 体験入園 十月十五日(木) 十六日(金) 十九日(月) 二十三日(金)
- 願書受付・面接 十一月一日(日)
- 入園手続

園児募集について

- ◎満三歳児(四年保育) 二〇名
- ◎一〇八年(平成三〇年)四月一日
- ◎一〇九年(平成三一年)四月一日
- ◎三歳児(二年保育) 三〇名
- ◎一〇七年(平成二九年)四月一日
- ◎一〇八年(平成三〇年)四月一日
- ◎四歳児(二年保育) 若干名
- ◎一〇六年(平成二八年)四月一日
- ◎一〇七年(平成二九年)四月一日
- ◎五歳児(一年保育) 若干名
- ◎一〇五年(平成二七年)四月一日
- ◎一〇六年(平成二八年)四月一日
- ◎入園願書受付 十一月一日(日) 七時三〇分

場所 聖ドミニコ学院幼稚園玄関 ※西門からお入り下さい。

提出物 入園願書・家族写真・検定料(五千円)・入園前の状況調査書

入園許可となった方は、入園料(無償化に相当)教育充実資金(三万円)を収めていただきます。

聖ドミニコ学院北仙台幼稚園 (二〇二一年度(令和三年度) 園児募集日程)

- 願書配布開始 十月一日(木)
- 入園説明会 十月十日(土)
- 幼稚園見学会
- ① 十月七日(水)
- ② 十月八日(木)
- ③ 十月九日(金)
- ④ 十月十三日(火)
- キッズプレイデー 十月二十日(火)
- アニマルランド 十月十六日(金)
- 雨天時 十月二十三日(金)

園児募集について

- ◎三歳児(二年保育) 四十名
- ◎一〇七年(平成二九年)四月一日
- ◎一〇八年(平成三〇年)四月一日
- ◎四歳児(二年保育) 若干名
- ◎一〇五年(平成二七年)四月一日
- ◎一〇六年(平成二八年)四月一日
- ◎入園願書受付 十一月二日(日) 九時~十時

場所 北仙台幼稚園

提出物 入園願書、調査票等、検定料(五千円)

入園許可された方は、入園料(無償化に相当)教育充実資金(三万円)用品注文(カバン、上靴、道員等) 詳細は募集要項をご覧ください。